

吉川カントリー倶楽部  
ローカル・ルールス

1. アウト・オブ・バウンズの境界は、白線をもって標示する。
2. 修理地は、青杭または白線をもってその限界を標示する。
3. コース内のすべての池はラテラル・ウォーター・ハザードとし、赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されているされている場合は線がその境界を標示する。
4. コース内に設置されたすべての人工の構築物は、動かすことのできない障害物とする。  
(舗装された道路・カート道路・排水溝・橋・給散水施設・樹木の支柱・目土容器・表示板・枕木等)
5. 電磁誘導カート用の2本のレールは、その2本のレールの全幅をもって1つのカート道路とみなす。このカート道路によってプレーヤーのスタンスや意図するスイング区域に対して障害が生じる場合、あるがままの状態プレーするか、ゴルフ規則24-2bに基づく救済を受けるかはプレーヤーの選択である。一方、球がこのカート道路上にある場合はあるがままの状態ではプレーすることはできず、プレーヤーはゴルフ規則24-2bに基づく救済を受けなければならない。この場合、球のらいだけではなく、スタンスや意図するスイング区域も含めて救済を受けなければならない。
6. 1番／9番・6番／7番 ホールの右サイド「ワンペナ」は使用しない。
7. 3番・9番・12番・14番・15番・17番でティショットがOB又は紛失球となった場合は特設ティにドロップを行い、第4打をプレーしなければならない。ドロップは特設ティマークよりホールに近づかず、2クラブレングス以内に行わなければならない。
8. 11番ホールティショットがOBからラテラル・ウォーター・ハザードかの判定はフォアキャディの判定に従う。
9. 防球ネットの救済を受ける場合は、その障害の上を超えたり、中や下を通すことなくニアレストポイントを決めなければならない。
10. スルー・ザ・グリーンにおいて、自己の球がその勢いで作った穴（ピッチマーク）に食い込んでいる時は、無罰に拾い上げ。球の止まっていた箇所にてできるだけ近き、かつホールに近づかないところにドロップすることができる。拾い上げた球は拭くことができる。
11. 本ルールに適用の無い事項は、すべて日本ゴルフ協会ゴルフ規則による。  
(備考) 本ローカル・ルールに変更または追加のあった場合は、クラブハウス内に掲示して告知する。

※ 印は大会ルールとする。

HOLE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
PAR	4	4	4	5	3	4	4	3	5	36
LEDIES	298	323	340	366	118	330	321	120	443	2,659
REGULAR	318	387	380	447	130	389	366	183	504	3,104
BACK	340	412	391	466	150	406	403	217	525	3,310
HOLE	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN
PAR	4	5	4	4	3	3	4	5	4	36
LEDIES	349	475	250	323	129	122	311	401	348	2,708
REGULAR	391	517	270	357	154	151	339	469	380	3,028
BACK	430	532	290	375	159	192	347	476	403	3,204

男性：BACK    男性シニア：REGULAR    女性：LEDIES

※上記の数値は予定であり、当日のコース状況により変更する場合があります。

以上  
2016年3月2日  
全日本企業対抗ゴルフトーナメント  
競技委員会